

家田紀子の日本の作品シリーズ1

芥川 龍之介 原作

蜘蛛の糸

朗読・独唱、クラリネット、ピアノのための音楽物語

2024年8月4日(日)

13時開演 (12時30分開場)

代々木上原・ムジカーザ

独りでぶらぶら

御歩きになって

いらっしやいました。

御釈迦様は

極楽の蓮池のふちを、

ある日の事でございます。

木下 牧子 作曲


朗読・独唱

家田 紀子

Introduction et Rondo / C.M.Widor
序奏とロンド / ヴィドール作曲

クラリネット 黒尾 文恵
ピアノ 坂元 陽子



主催 エトスプロジェクト 
後援 公益財団法人日本オペラ振興会 藤原歌劇団・日本オペラ協会
公益社団法人日本演奏連盟

全席自由 5000円



家田 紀子 朗読・独唱

小澤征爾指揮「スベードの女王」でデビュー。
 藤原歌劇団、日本オペラ協会、新国立劇場、東京室内歌劇場、日本オペレッタ協会など多くの舞台に出演。NHK-FMの出演ほか、東京交響楽団定期演奏会マーラー『一千人の交響曲』をはじめ主要オーケストラと多数共演。
 オペラプロデューサーとして手腕を発揮し、『夕鶴』を国内で7回、イタリア・ローマ(2010年)、フランス・パリ(2010年)、日越外交関係樹立40周年記念ベトナム・ハノイ公演(2013年)を成功に導き、しかも主演“つう”を歌う快挙を成し遂げる。2012年には、池辺晋一郎作曲『おしち』のプロデュースを手掛け主演も務める。また海外での演奏活動も多く、ルーマニア『蝶々夫人』、シンガポール「第九」他、アイルランド、ソウル、上海、大連、台湾などに招聘される。近年では、日本オペラ協会『春琴抄』の春琴、『静と義経』の北条政子、『死神』のたつ、金沢にてオペラ『卒塔婆小町』では小町と老婆両役を好演。
 藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。日本ロッシーニ協会運営委員。日本演奏連盟会員。
 CD「永遠に」『宵待草』『歌に生き恋に生き』発売中。

家田紀子の歌には「花」がある。独特の個性的な魅力で聴き手を魅了してしまう力、といってもいい。
 高崎保男（音楽評論家）



黒尾 文恵 クラリネット

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学卒業演奏会に出演。同大学研究科修了。第2回日本クラリネット協会コンクール第2位、第6回日本管打楽器コンクール第1位入賞。東京交響楽団とモーツァルトのクラリネット協奏曲を共演。NHK・FM「土曜リサイタル」に出演。東京文化会館にて演連（文化庁助成）によるリサイタル開催。数多くのコンサートに出演し、好評を博す。クラリネットを二宮和子、室内楽を北爪利世、浜中浩一、横川晴児の各氏に師事。東京フィルハーモニー交響楽団団員。



坂元 陽子 ピアノ

北鎌倉女子学園高等学校音楽科を経て桐朋学園音楽学部ピアノ科卒業。同大学声楽科伴奏研究員を修了。ウィーン国立音楽大学卒業。故内藤ゆり子、故北村陽子、玉置善巳、パウル・バドゥラ・スコダ、ゲオルク・エバード、サラ・マリア・サージェントの各氏に師事。現在、数多くの演奏会に出演し、声楽や管・弦楽器アンサンブルピアニストとして活躍中。第8回チェコ音楽コンクールに於いて、最優秀共演者賞を受賞。
 現在、洗足学園大学院、日本歌曲伴奏者、北鎌倉女子学園音楽科非常勤講師。鎌倉音楽クラブ（鎌倉音楽家協会）会員。



優井染乃 衣装デザイン・製作

先祖は300年前より芝大門に居住、生粋の江戸っ子8代目である。親世流能楽をたしなんでいた祖母の影響で幼少より着物に囲まれて生活をする。古典芸能に携わっていた祖母の影響で幼少期から着物に親しみ、2015年銀座にセレクト着物ショップ〈ぼわる〉を開業。着物の販売、着付、スタイリスト他、着物地で作る舞台衣装を手掛ける。日本の伝統技術である本式日本髪を後世にも伝えていくため、京都の結髪師に弟子入り。美容師国家資格も取得し、東京を代表する結髪師として多方面で活躍中。POWARUTOKYO（株）代表取締役。

MUSICASA ムジカーザ

小田急線・東京メトロ千代田線
 [代々木上原駅]東口より徒歩2分
 京王新線 [幡ヶ谷駅]南口より徒歩12分

